

10月1日～ 霊峰 白山

若林 憲治

山名	霊峰 白山	山行名	例会
ルート	別当出会～中飯場～黒ボコ岩～室堂センター 室堂センター～御前峰～白山室堂センター～殿ヶ池～別当出会		
山行日	2022年10月1日～2日	天候	快晴
参加者	CL 若林 SL 秋山 (参加者総勢 (21名) (男性) 山下 竹原 中田 小泉 松嶋 5名 (女性) 上田 大林 染矢 徳田 伊藤(多) 竹原 大西 幾多 高山 高橋 蒲田 岡本 山本 中井 14名		

ルート概略図 	コースタイム			
	地名	時:分	地名	時:分
別当出会 (砂防新道)	発 11:00	御前峰	着 5:50	
中飯場	着 12:00	白山室堂センター	着 7:30	
黒ボコ岩	着 16:05	殿ヶ池 (観光新道)	着 9:55	
室堂センタ	着 16:50	別当出会	着 13:35	
室堂センタ	着			
	発 5:00			

10月1日(土)5時33分山手東を出発後間もなく東の空からご来光、今日 明日の天気を使う上最高の出足である。車は順調に賤ヶ岳SA到着バス運行上30分の休憩が必要との事で各位昼食等の買い出し福井北から一ノ瀬へ一ノ瀬から別当出会は山道が狭く離合も出来ない箇所あり、シャトルバスに乗り換えを余技無くされていたが、今回は幸いに中型バス別当出会迄直接乗り入れ可能で時間的にも助かり快晴の下11時05分22名で別当出会(1,300m)より砂防新道コース登山開始。登山開始も30分後にM氏体調不良で下山して頂く判断。残り21名で本日の宿泊地 白山室堂センターを目指す。中飯場には12時00分到着 15時00分頃ガス発生もすぐに切れ 黒ボコ岩(16時05分) 白山室堂センター(2,450m)へは16時50分計画案通り到着センター到着後 宿泊施設の説明を受け18時00分より夕食 20時00分消灯 コロナ禍の影響で本来は二人部屋も一人占有 インナーシートを使用して満点の星空を眺め明日早朝出発の準備を終え銘々床に就く。10月2日(日)気温5℃前後の下 5時00分御前峰(2,702m)目指し日の出時間に合わせ(5時50分)登頂開始 幸い、風も弱く年に数回?しか無いのではと思われる程澄みわたった青空の彼方からのご来光は、言葉に成らない位感動 個人的にも過去体験したご来光の中では一番素晴らしい日の出に接する事ができたのではないだろうか。御池巡りをして高山植物の宝庫 白山を堪能すべき所今年は紅葉も天候不順で色付きも悪く ナナカマド等 枯れた状態であった。7時30分室堂センターに戻り 朝食を済ませ8時30分 下山は景観の良い観光新道を通るコースを選択 殿ヶ池避難小屋(9時55分)通過後13時35分全員無事に別当出会到着後 白峰温泉総湯にて疲れを癒し帰路に就く。今回の山行は、今日の為日々特訓を繰り返されたYさん、今年入会の新人5名の方々の頑張りとお陰で無事目的達成 ご来光最高でした。参加者各位の記憶に残る山行の一つ加わった事と思います。ご参加の皆さん本当にお疲れ様でした。

ヒヤリハット : 右手親指骨折者発生 ヒヤリハット提出

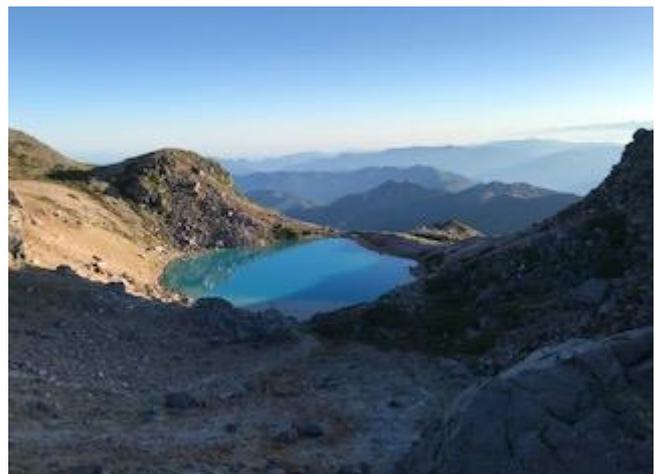


霊峰白山登山

2022年10月1日 別当出合(1,300m)にて  
これから白山家業センター(2,450m)へ出発



2022年10月2日 剣が峰にて これから御池巡り



高山京子

初めての山小屋泊を伴う登山でしたが、お天気にも恵まれ、ご来光を見ることもでき、本当に思い出に残る登山となりました。御池めぐりも楽しかったです。

登りはなんとか歩けたものの、下山では足をくじかないよう緊張する一方で足の踏ん張りはきかないという不思議な感覚に陥り、最後の方では1kmがとてもしんどく感じました。

でも、なんとか無事に下山することができ、行きに渡った吊り橋を見て、「戻ってこれたんだ……。」とほっとするやら、うれしいやら。

また、道中ではベテランの方々が、植物の名前や歩き方のポイントなどを折に触れて教えてくださり、色々なことを知ることができました。とても貴重な体験となりました。ありがとうございました。

最後の温泉も疲れを癒やしてくれて最高でした！

松嶋芳人

これだけ、ドピーカンな天気はそうそう経験がなく、さらに無風、朝もさほど寒く無くで、素晴らしいお天気に恵まれて、ご来光を拝める事が出来て本当に良かったです。

皆様の日頃の行いのお陰と、新入会者のビギナーズブラックなんではないでしょうか。

往復チャーターバスで移動は楽チン、コロナ禍のお陰？で寝床も二人分の広々で文句なしの完璧すぎる小屋泊登山でした。

ひとえに綿密に計画して下さったCLさんのお陰で、感謝の言葉もございません。

又、大人数でしたので山友会の沢山の方々とお知り合いになれたのも良い機会でした。

皆様、とても楽しい山行を有難うございました。

伊藤多恵子

白山は何度も登った親しみのある山域だ。そもそも'98年に友人たちに連れられて白山に登ったのが山の魅力に目覚めたきっかけだったから。南竜でのテント泊、刈込池の紅葉、千振尾根から登った別山など、どれも心に残っている。でも長らく行く機会がなかったところへ、ありがたいことに例会が！

今回もお天気に恵まれ、夜には満天の星、ご来迎、澄み切った青空の下でのお池めぐりと楽しい時間が続いた。だから、下りの辛さは忘れよう。

もう一つ、嬉しかったことが。白山のトレーニングに比良を案内した新人さん5人が、元気に旅を終えてくれたこと。中でも、0さんは比良に行ったことをすぐに後悔したと言っていたので、少しは考え直してくれたかな？ バスを仕立てての快適な例会として下さったWさん、ありがとうございました。

蒲田 史

黒ボコ岩を抜けると景色が一変しました。笹原に木道が続きその向こうに白山（白山という山は無いとのこと）が見えます。白山！感動です。その姿は雲に隠されたり現れたり。しかし夕暮れにはすっかり晴れ、美しい日没の景色が見えました。夜には見飽きることもない満点の星空。星屑とはこのことかと思わされます。翌日は5時出発でご来光を見に頂上へ。登り始めた太陽、雲海、そして太陽と反対側には白山の影。全てがなんとも言えない最高の眺めです。下山時には名残惜しく何度も振り返りました。お天気に恵まれた最高の2日間。

CL、SL、ご一緒してくださった皆様お世話になりました。ありがとうございました。

山下隆

白山は今回で3回目になる。初回は17年前の2005年の夏山で、3グループが3方向から登り、頂上で合流するやり方だった。私は今回と同じコースで、その時の写真を見ると、天気には恵まれたが、御来光に出会えるほどではなかった。さすが白山には高山植物数えきれないほどだった。初めての1200mもの下りは不安だった。2回目は10年前の秋の市民登山だった。50名近い大所帯登山で、台風間近で天候にめぐまれず、当然ご来光は無理だ。一方で弥陀が原のモザイク模様の紅葉は見ごたえがあった。今回の3回目は最高の天気に恵まれ、素晴らしい展望と白山初めてのご来光に巡り合える幸運に恵まれて最高だ。

今回の白山山行で嬉しかったことは無事に下山出来たことは当然だが、三つ上げると ①最高の天気  
に恵まれたこと ②高山病にならなかったこと ③水洗トイレが設置されていたこと。特に、②につい  
ては不安があった。約 10 年前の市民秋山登山で、頂上手前の木道で、高山病に見舞われ、眼が回りフ  
ラフラ状態になってしまい、今回の SL の娘さんに荷物を持ってもらい小屋に無事到着出来た。それ以  
来、2500m 以上の山には常に不安感が伴う。今年の八ヶ岳夏山登山では 2200m の高見石小屋に一泊して  
からの登りだったので無事乗り切れた。今回は 1300m の別当出合いからの登山開始なのでぼちぼち体  
が慣れてくれれば大丈夫だろうと自己暗示にかけて登る。先輩から教えられたように、空気が薄い高山  
ではしっかりと息を吐きだす呼吸に努めた。高山病は免れたが持病の「ツリ」が前回と同じように弥陀  
ヶ原で起こり、仲間に荷物を持ってもらったり、ホカロンを頂いたり、ストレッチをしていただいたり  
と助けていただいたりで一難去ったが、睡眠中も寝相が悪く毛布をどこかにやっけてしまい、寒さでツリ  
に見舞われたりして熟睡は無理だった。

朝飯前のご来光登山や池巡りは穏やかな気候の中、素晴らしい景色を堪能でき、夏の八ヶ岳に続き、  
今年は 2 回も大きな山行を達成する幸せを感じながら歩いた。

問題は観光新道の下りだ。下りで膝を痛めないように小股・小股と自分に言い聞かせながら下る。ヒ  
ヤリハットの例が頭をよぎる。絶景の尾根をルンルンと下ると、最後の別当出合いへの急降下が待っ  
ている。17 年前はまだ瞬発力もあり、石の頭を飛び跳ねて歩けたが、今回は無理をしないように、こ  
こで怪我でもしたら！ と思うとつい慎重になる。17 年前は 11 名で 4:30 で降りたが、今回は 21 名で  
5hr かかっていた。標準時間の 1.6 倍。計画時点で 1.6 倍の声がきこえていたし、全員無事故とはいか  
なかったがマズマズの所要時間だ。自分にとっては白山はこれが最後になると思う。次は雪の白山を眺  
める山行を計画したい。

今回の山行は人数も多く、今年入会した方々もいて、まるで宿泊を伴うミニ市民登山だった。計画か  
ら実施に至るまで やらねばならぬ仕事量は膨大だったと思う。新人たちの事前訓練登山、バス会社と  
の折衝、現地道路状況の調査、宿の手配、コースの設定、山行中のリスク回避・・・等々。CL、SL  
に甘え過ぎたと反省だ。10 年位前、20 名以上・マイクロバス・2泊3日の熊野古道シリーズを 5 回程  
CL で担当した時も大変だったが、参加者全員に役割を振り分けで楽しく出来たのを思い出す。今とな  
っては楽しい思い出の一つです。

CL, SL 様ほんとお世話になり有難うございました。

山本浩恵

山を始めて半年のド素人には無謀なチャレンジ？申し込みはしたものの、日程が近づくにつれて不安が  
増し、特訓登山として設定していただいた武奈ヶ岳で余計に不安が増長し、正直「不安しかない」まま  
当日を迎えました。気持ちをアップさせるのは、晴れの天気予報のみ笑。予報通り、文句のない快晴の  
中、別当出合登山口に到着。ここまできたら、やるっきゃない！本日の目的地【室堂ビジターセンター】  
まで覚悟を決めて歩き始めたら、あら？武奈ヶ岳よりずっと楽じゃない。と思ったけど、歩き続けたら  
やはりしんどい。途中、天気もガスってきたりして、せめて目指す山々をキレイに見せてほしいと願  
いながら必死で歩く。クロボコ岩、弥陀ヶ原を通過するごとにテンションあげ直して予定時間を大幅に過  
ぎてはいましたが室堂に到着！当方頑張りました。誰も褒めてくれないので、自分で褒めます！初の山  
小屋泊、部屋へ案内されて驚き、夕食が思いの外美味しくいただけただことに喜び、明日早朝のご来光登  
山に備えてこれも人生初の 20 時就寝笑。翌朝、5 時出発で日の出にギリギリ間に合う御前峰登頂！寒さ  
に震えながら、またこんな朝からラストスパート効かせての登山とか、また当方褒めます！初めて経験  
した山頂からのご来光、生涯忘れません。雲海の美しさ、前夜の満天の星、沈みゆく夕陽、お池巡り、  
どれもこれも感動しかなかったです。先輩方皆さま、若輩者の無謀なチャレンジに快くお付き合いくだ  
さり、時にはご指導、優しいお声かけ感謝しております。これからも山の楽しさ教えてくださいね。  
最後にこの山行を起案くださり、初心者の方たちに「できるよ！」と背中を押してくださった W さま、  
本当にありがとうございました。

今回リタイアされた同期の方といつかまたリベンジしたい白山登山でした。

大西良子

10月例会の白山登山へ参加いたしました。  
山の木々が色づく季節となり、山に登り美しい景色を眺め自然の素晴らしさと強さに感動した山行でした。山友会に入会し登りたい山から登れる山が一つ増え、次の登れる山を今から楽しみにしています。また、今回の山行でお世話になった方々ありがとうございました。

岡本純子

志願して武奈ヶ岳の練習登山を組んでもらったものの、急登の辛さに心折れての白山への参加でした。2,000m超えの山、山小屋、ご来光と初めて尽くし…  
少しの期待と多くの不安で臨んだ山行でしたが、諸先輩方の励ましにより登り切ることが出来、山小屋に辿り着いた時には感極まって涙が出てしまいました。  
そしてご来光を拝んだ時には、頭が真っ白になって今まで感じたことのない感情が込み上げてきて、感謝の気持ちでいっぱいになりました。  
この山行に誘って下さったWさん、素敵な経験をさせて頂き本当にありがとうございました。  
また最後になりましたが、不注意で怪我をしまいご迷惑やご心配をお掛けし申し訳ありませんでした。

小泉弘道

天気予報は2日間晴、最高の登山日和でした。バスで向かい、別所登山センター着。準備を整え11時過ぎにスタートし15分後に1名体調不良に。☆結局一人で下山することになった。4期生の仲間がまさかのリタイア。本人も悔しいと思うが、私もつらい。登頂して4期生皆で「やったー」と写真を撮りたかった。  
そのことは残念だったけど、白山は素晴らしかった。ご来光も拝めて初めて高原を歩き風がすり抜けていくのが、こんなに気持ちがいいとは。下山は、馬のたてがみルート通り木々が無いので一望できる見晴らしの良さ。いい経験をさせて頂きました。  
今回の山行で思ったこと。山行は、日常とは全く違う。2週間前の武奈ヶ岳登山もスタートして間もなく1名が体調不良になった。私の教訓として初心者は、身体が慣れるまではスタート時・休憩後は「慎重に！ 慎重に！ 慎重に！」山行では、何が起こっても不思議ではない。不測の事態は起きるものと考えシミュレーションをしておかないと慌てふためく。集団行動なので自分自身の全ての管理は当然として、廻りの人への気配りも必要。自分がリーダーだったら、どうするだろうかと色々考える。  
というのも、この9月から山行部に入会して2年後にはSLになるらしい。まだまだわからないことばかりで、どんどん例会に参加して勉強すればいいのだろうが今の自分の環境では年間数回行ける位かと思います。  
一步一步頑張っていきたいと思いますので、今後ともよろしくお願いします。

#### ☆ 1人での下山に関する判断

登山開始後M氏体調不良訴える。本人の意思は大丈夫との事で有った。本人の意思を考慮 休憩を取り様子を見ながら判断もこれ以上の登山は無理と結論 幸い30分程歩いた場所でもあり、同行下山も考えたが充分歩けるまでに快復 幸い下山時の方がおられ事情をお話しして、別当出会迄後ろからサポートして頂ける事が出来た。数十分後ご本人に電話連絡無事に別当出会經由一ノ瀬まで到着との事を確認我々も本格登山開始。

CL 若林の判断